

環境問題、特に地球温暖化対策への取組みは、企業の社会的責任と捉え、環境に与える負荷をできる限り小さくするとともに、従業員の環境意識向上に取り組んでいます。

お客さまとともに安心して豊かに暮らせる「社会」や「環境」を育み、守っていけるよう積極的に環境保全に取り組んでいます。

全体的な省エネルギー対策の推進

社内では、空調運転（温度設定・運転時間）に関する目安をはじめ、エネルギー使用機器に関する基本推進事項（昼休み・不在時の消灯・減灯、近隣フロアへの階段移動等）を定め、徹底を図るとともに、その促進のための

諸対策（社内報・イントラネットを活用した従業員の省エネルギーに対する意識・行動の啓発、クールビズの実施等）を実施しています。

全ビルの総エネルギー使用量の状況（「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づき算出）^{※1}

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
エネルギー使用量(原油換算kl)	59,804	57,504	57,979	59,017	58,108
電力使用量(万kWh)	21,074	20,467	20,494	20,745	20,318
CO ₂ 排出量(t-CO ₂) ^{※2}	127,359	119,569	117,194	116,225	110,416

【目標】事業者の法定目標	5年度間平均エネルギー原単位を年1.0%以上低減など
【実績】エネルギー消費原単位削減率 ^{※3}	2.3%
【評価】事業者クラス分け評価制度 ^{※4}	Sランク(最上位)

※1 2020年7月1日現在確定している2018年度実績値までを掲載

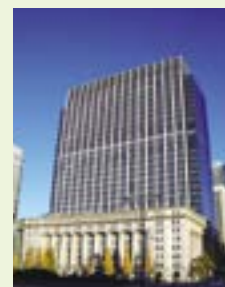
※2 「地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）」の「算定・報告・公表制度」における排出係数を使用（電力使用によるCO₂排出量については、電気事業者別排出係数で算出）

※3 過去5年度間の対前年度比をそれぞれ乗じた値を4乗根して算定

※4 定期報告書等の内容に基づき、事業者を「S（優良事業者）」「A（一般事業者）」「B（停滞事業者）」「C（要注意事業者）」へクラス分け（Sクラスの事業者は、優良事業者として経済産業省のホームページで公表）

社外からの評価

丸の内 MY PLAZA(明治安田生命ビル・明治生命館)が「トップレベル事業所」に継続認定
東京都環境確保条例に基づく「優良特定地球温暖化対策事業所[※]（第二計画期間）」において、第一計画期間に続き、東京都より「トップレベル事業所」として認定を受けました。丸の内MY PLAZAは、オフィスと商業施設の複合用途ビルとして多くのお客さまにご利用いただいております。今回の認定は、エネルギー効率の高い設備の導入に加え、テナントと一体になったCO₂削減体制の構築などの取組みが評価されたものです。



アークヒルズ仙石山森タワーが「トップレベル事業所」に認定

東京都環境確保条例に基づく「優良特定地球温暖化対策事業所[※]（第二計画期間）」において、東京都より「トップレベル事業所」として認定を受けました。アークヒルズ仙石山森タワーは、オフィスと商業施設の複合用途ビルとして多くのお客さまにご利用いただいております。今回の認定は、エネルギー効率の高い設備の導入に加え、テナントと一体になったCO₂削減体制の構築などの取組みが評価されたものです。



※「優良特定地球温暖化対策事業所」について

「優良特定地球温暖化対策事業所」は、東京都による都内の大規模事業所へのCO₂排出量削減のための推進体制から省エネ設備の導入状況等の全213項目の審査により認定されます。「優良特定地球温暖化対策事業所」のうち、「対策の推進が極めて優れた事業所」が「トップレベル事業所」として認定されます。

環境に配慮したオフィスビルの取組み①

当社では、気候変動（オゾン層の破壊）に影響を及ぼすフロン類の大気中放出を抑制するため、所有設備（業務用空調機、ターボ式冷凍機など）の定期点検や設備補改修などにより対策を講じています。

また、使用する冷媒種は、温室効果の遮減やオゾン層の破壊抑制につながる、環境に優しい冷媒への切換えを、漸次、行なっています。

全設備の総算定漏えい量の状況（「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき算出）※1

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
算定漏えい量 (t-CO ₂) ※5	1,157	1,021	1,052	1,031

※5 所有台数にかかわらず、事業者単位で年間算定漏えい量が1,000t-CO₂以上の場合、事業を所管する大臣に報告が必要

当社で取り扱う対象設備

業務用空調機器 冷凍冷蔵ショーケース 定置型冷凍冷蔵ユニット ターボ式冷凍機 等

環境に配慮したオフィスビルの取組み②

全国にある当社所有のビル13棟の屋上、計6,649平方メートルを緑化しています。屋上緑化は、ヒートアイ

ランド現象を緩和するとともに、断熱効果によってビルの空調に使うエネルギーを減らすことができます。

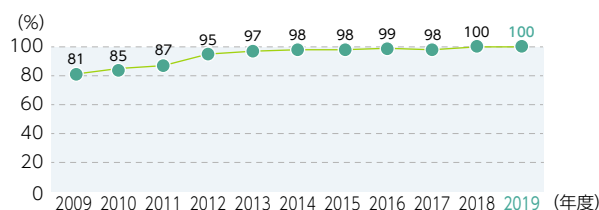
明治安田生命ビル・明治生命館 明治安田生命大阪御堂筋ビル 明治安田生命神戸ビル 明治安田生命新東陽町ビル 明治生命館の屋上緑化

社用車へのエコカー（低公害車）・電気自動車の導入

社用車について、積極的にエコカー（低公害車）を採用しており、2018年度以降、すべての社用車がエコカー（低公害車）となっています。

2019年度には、電気自動車も導入し、自然環境へのさらなる負荷軽減に取り組んでいます。（2019年度末現在で合計133台、うちハイブリッド車94台、電気自動車1台）

■ 低公害車の導入率



環境問題への取組み

廃棄物の分別・リサイクル

本社がある明治安田生命ビルの各階に専用リサイクルボックスを設置するなど、廃棄物の分別回収やリサイクルに積極的に取り組んでおり、2019年度のリサイクル率は78.9%となっています。



リサイクルボックス

OA用紙使用量の削減

社内横断的な文書共有と情報交換のための「電子文書管理システム(e-ファイリング)」を積極的に活用するとともに、モニターやプロジェクターの使用による、パソコン会議やパソコン機能(画面スケッチ機能等)の活用を通じて、

紙を使用しない会議・打ち合わせの運営を推進しています。また、OA用紙の使用量を意識させるため、各所属のコピー用紙の削減状況を適宜開示し、意識の向上と取組みの促進を図っています。

印刷物の環境配慮対応

当社は、お客さま向け資料などの各種印刷物について、紙の使用削減や生分解性に優れた植物油インキの使用など、環境に配慮した取組みを推進しています。

取組みの一例として、当社にて取扱中の生命保険商品(金融機関販売商品含む)すべてのご契約について、約款の内容をホームページ上で確認可能とすることで、ペーパーレス化を進めています。今後も環境に配慮した取組みをいっそう推進していきます。



ご契約のしおり 定款・約款
ベストスタイル



MY Web 約款

環境配慮型事務用品の購入

本社・支社および営業所等で使用する事務用品については、エコマーク商品、グリーン購入ネットワーク(GNP)掲載商品、グリーン購入法適合商品、FSC認証商品などの環境配慮型商品を優先的に購入できるシステムを構築しています。2019年度は環境配慮型商品の選択肢を

拡大したことにより、環境配慮型商品の購入率は金額ベースで82.1%と対前年で増加し、引き続き高い水準を維持しています。今後も同システムの活用等を通じて、事務用品での環境配慮型商品の購入を進めていきます。

環境に対する意識の向上

2019年7～9月(夏期)および2019年12月～2020年3月(冬期)を全社統一の「節電強化月間」として運営しました。室内温度の調整(夏期28℃、冬期20℃)等の

全社的な推進事項を定めて通知するとともに、従業員の環境に対する意識と行動の啓発に向け、個人でできる節電対策を周知しました。

環境に配慮した社会貢献活動

子どもたちの環境への意識を高め、環境保全にも貢献する社会貢献活動をめざして、小中学校の環境教育に

貢献する「全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール」に協賛しています。